

全学共通科目の成績評価について

平成 28 年 1 月 20 日 企画評価専門委員会決定

平成 27 年度から成績評語として Grade Point (GP) が導入され、平成 28 年度からは成績評価指標としてそれに基づく Grade Point Average (GPA) の使用が予定されています。当面は、海外の大学への留学に必要な資料とするなどの限定的な使用が想定されますが、将来的にはより広範な目的に使用されることも予想されます。したがって、科目毎に担当教員によって評価基準が大きく異ならないように配慮し、学生への不利益の招来を避ける必要があります。つきましては、上記の趣旨をご理解の上、下表の評価基準を参考^{*1}に担当科目の成績（素点）をご評価下さいますようお願いいたします。

なお、評語 C 及び D、とりわけ D については、該当者がいない科目があることも考えられます。

素点	評語	GP	相対比率
96～100	A+	4.3	A+, A で合格者の の 30%程度
85～95	A	4.0	
75～84	B	3.0	A+, A, B で合格者の 80%程度
65～74	C	2.0	
60～64	D	1.0	
0～59	F	0.0	合格基準 ^{*2} に満たない者

^{*1} 相対評価が適切でない科目、あるいは履修者数が少なく相対評価が困難な科目においては、上表に準じて学生の不利益にならない評価を行う。

^{*2} 必修科目においては出席を含む平常点とレポート課題への取組みが一定の基準を満たし、期末試験等において一応の理解が認められた者を合格とする。